

第 11 回社員総会議事録

日 時：2023 年 6 月 24 日(土)13：00～15：20

場 所：(一社)東京都歯科技工士会館

東京都豊島区北大塚 2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル 4 階

出席者：【代議員】 佐藤高広代議員、中村悠介代議員、猪野雅慎代議員、長浜謙一代議員、池田強代議員、鈴木哲也代議員、伊藤保太郎代議員、三次保代議員、谷本慎一代議員、頂和人代議員、岸芳明代議員、浜田泰弘代議員、熱海一也代議員、都築康行代議員、関根満代議員、佐藤文裕代議員、原晃代議員、小松悟代議員

【理事】 石川功和会長、西澤隆廣副会長、宇山慶昌副会長、小笠原明副会長、狩野真澄専務理事、松尾博子常務理事、長津弘志理事、妹島利行理事、木村正理事、横内正理事

【監事】 西村佳代子監事、小玉信彦監事

【議事内容】

1. 開会宣言 石川会長

定款 17 条第 1 項及び第 18 条第 1 項、第 2 項による総社員の議決権の過半数を有する社員の出席者 17 名、議決権行使書 0 名、合計 17 名となり議決権を有する総社員 20 名の過半数を満たしており、社員総会議事規定第 8 条第 1 項により第 11 回社員総会が成立したことが会長から発せられた。

2. 議長選出 石川会長

議長の選出を議場に諮る。会長一任となり、議長に南部ブロック大田歯科技工士会浜田泰弘代議員、副議長に北部ブロック板橋歯科技工士会鈴木哲也代議員を指名。全会一致をもって承認され任命した。

3. 氏名点呼 鈴木哲也副議長

氏名点呼を行い、社員 20 名中 17 名の出席を確認。

4. 議事録署名人の選出 浜田議長

議事録署名人の選出を議場に諮る。議長一任となり佐藤文裕代議員(中央第二ブロック千代田歯科技工士会)と都築康行代議員(中央第一ブロック銀座歯科技工士会)の両名を指名、全会一致をもって承認、両者とも受諾した。

5. 物故会員に対する黙祷 浜田議長

2022 年 6 月 26 日から 2023 年 6 月 24 日までの物故会員 2 名のご冥福祈り黙祷を捧げた。

太田紘忠様(新宿)、 盛島整様(練馬)

6. 会長挨拶 石川会長

会長石川功和より所信表明の挨拶があった。

7. 議事進行 浜田議長

議長、副議長を除く決議票は、満票は 15 票、過半数以上は 8 票、3 分の 2 以上は 11 票となる。

動議提出締め切り時間は第 2 号議案終了までと説明があった。

議長は議案審議開始を宣言し、執行部に第 1 号議案の上程審議を求めた。

第 1 号議案

2022 年度事業経過報告の承認を求める件

狩野専務理事から 2022 年度事業経過について会務報告総括、総務報告、各事業の事業報告、組織状況表の報告があった。

事前に提出された質問・要望事項に対し、石川会長から答弁があった。

(西部多摩ブロック杉並歯科技工士会 伊藤保太郎代議員から質問)

【質問 1】理事会、部会等への構成メンバーの出席状況を問う。私が招集された経営、組織合同部会では、招集した側の担当理事が 2 名とも欠席。Web でも参加していなかった。この様な、会を愚弄するような事が常態化しているのではないか。

【答弁】常態化していることはありません。理事もやむを得ない事情で欠席する場合もあるが、決して会を愚弄することではなく、軽んじているわけでもないと言及があった。

(西部多摩ブロック杉並歯科技工士会 伊藤保太郎代議員から質問)

【質問 2】多摩地区の各々の地域が抱えて、該当地域会長等が苦勞している事。地域が広域に亘る事と、会員の減少に、如何に対応して活性化して行くかという課題について、都技としての見解を問う。

【答弁】新入会員で多摩地区の会員を徐々に増やす活動をしている。組織も担当者を置き、これからも多摩地区の地域活動をしてくと答弁があった。

(西部多摩ブロック中野歯科技工士会 三次保代議員から要望)

【要望 1】地域会会議等に、要望により都技会長の出席を希望する。

【答弁】ブロック会議等は要請があれば従前どおり出席すると答弁があった。

(西部多摩ブロック杉並歯科技工士会 伊藤保太郎代議員から要望)

【要望 2】理事会議事録を、地域会会長にも配布して下さい。

【答弁】Den-tec Tokyo「東京歯技」に掲載している理事会議事録を参照していただきたい。また、都技ホームページに理事会終了次第掲載しているので、それをご覧いただきたいと答弁があった。

議長が第 1 号議案に関する質疑応答を議場に求めた。

*西部多摩ブロック(杉並)伊藤保太郎代議員から質問があった。

【質問】質問書 1 に対し理事の方々が多忙なのは承知しておりますが都技が招集した会議に担当理事が無断で欠席するということはどういうことなのか。また、都技理事会において理事の方が私の質問書に対して批判、不適切な発言をしたことはどういうことなのかという質問があった。

【答弁】石川会長から、決して愚弄するとかではなくその状況においては執行部として

も反省をして今後是正していくと答弁があった。また、理事会における不適切な発言には容赦しますが今後このような事がないようなかたちで進めていき、皆様の人権を尊重しながら発言していくと答弁があった。

*西部多摩ブロック(中野)三次保代議員から質問があった。

【質問】質問書1について、部会を開催するにあたり担当理事が出席してないのは組織として成り立っていないのではないか。また、部員を招集して組織の部会を遂行しようとしたのかと質問があった。

【答弁】石川会長から、決して部会を軽んじているわけではありません。不測の事態ということもあり欠席した理事に代わり出席した理事が遂行したと思っておりますので、今後このようなことがないように気をつけていくと答弁があった。

*その答弁に対して西部多摩ブロック(杉並)伊藤保太郎代議員から発言があった。

質問1に対し石川会長から謝罪の発言があったのでこれ以上追及はしませんが、会は会員の為にあることを思って業務を遂行していただきたい。また、会長は率先して理事の指導にあたって欲しいと発言があった。

議長が再び質疑応答を議場に求めた。

*西部多摩ブロック(杉並)伊藤保太郎代議員から質問があった。

【質問】質問書2について多摩ブロック地区は広範囲であり会員数も減少して非常に大変な状況で、西部多摩ブロックで話し合いをしているが解決策が見つからないので執行部でも考えて欲しい。また、総会資料の組織状況表や協議事項など多摩東、多摩西の掲載の仕方にも問題があり、執行部でまとまりがないからこのような事もおきるのではないかと質問があった。

【答弁】石川会長から、決して軽んじているわけではありません。今後は資料に関しては統一をはかり是正していくと答弁があった。

*その答弁に対して西部多摩ブロック(杉並)伊藤保太郎代議員から発言があった。

石川会長の答弁発言についてとらえ方が違うので改めて述べさせていただきます。このような資料の不備などは多摩全体について目が行き届いていないのではないかとという一例として申し上げたと発言があった。

【答弁】その発言に対して石川会長からそういうことはありませんと答弁があった。

議長が再び質疑応答を議場に求めた。

*西部多摩ブロック(杉並)伊藤保太郎代議員から発言があった。

西部多摩ブロックから2名の代議員欠席がありブロック長の伊藤保太郎代議員から謝罪があった。

その後、代議員からの質問はなく採決に入る旨を議場に告げた。

(採決結果) 賛成票 15 票。全会一致で承認されたと議長から宣言があった。

第2号議案

2022年度会計収入支出決算の承認を求める件

(第2号議案から社員1名の出席があり決議票は、満票は16票、過半数以上は9票、3分の2以上は11票となる。)

宇山副会長から2022年度会計収入支出決算について貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、財産目録、附属明細書、慶弔見舞報告があった。

議長が第2号議案に関する質疑応答を議場に求めた。

*西部多摩ブロック(杉並)伊藤保太郎代議員から質問があった。

【質問】理事の役員弁償費の源泉徴収費は別途支払いをしているのか、支払い分の中から支払いしているのかという質問があった。

【答弁】宇山副会長から、担当理事によって金額は違いますが決まった支払い額から源泉をひいて支払っていますと答弁があった。

*西部多摩ブロック(杉並)伊藤保太郎代議員から質問があった。

【質問】生涯研修の講師への謝礼金についての源泉徴収費はどのようになっているのかという質問があった。

【答弁】宇山副会長から謝礼金の支払い額から源泉をひいて支払っていると答弁があった。

*中央第二ブロック(文京)原晃代議員から質問があった。

【質問】貸借対照表、正味財産増減計算書などの科目の数字が見づらく分かりづらいので見やすい書き方に出来ないかという質問があった。

【答弁】宇山副会長から検討しますと答弁があった。

その後、代議員から質問はなく続いて議長が監査報告を求めた。

監査報告

西村監事からは内容は文章の通りであり間違いなく監査したと報告があった。

議長が採決に入る旨を議場に告げた。

(採決結果) 賛成票 11 票。過半数を満たしているので承認されたと議長から宣言があった。

第3号議案

代議員選挙管理規程及び役員選出に係る規程の別表改定の承認を求める件

狩野専務理事から代議員選挙及び役員選出選挙に於いて選挙区間に於ける代議員一人当たりの会員数に較差が生じている。この較差是正のために各選挙区の区域の改定案の上程があった。

議長が第3号議案に関する質疑応答を議場に求めた。

代議員から質問はなく採決に入る旨を議場に告げた。

(採決結果) 賛成票 16 票。全会一致で承認されたと議長から宣言があった。

第4号議案

役員選挙の承認を求める件

狩野専務理事から役員選挙結果の承認を求める上程があった。

三輪典久選挙管理委員長から定款第 24 条に定める「役員の任期」の満了に伴い、選挙公示した理事及び監事の役員選挙について立候補締め切りの結果、「都技役員選挙告示」のとおり候補者が確定した。これを受け第 3 回選挙管理委員会において、この選挙は全選挙区において立候補者数が定数を超えなかったため、「役員選出に係る規程 第 23 条第 3 項 候補者数が定数を超えない選挙区の候補者は、無投票当選とする。」が適用され、すべての候補者を当選とすることが認定された。

○地区選出理事／横内正、千脇喜久夫、妹島利行、宇山慶昌、石川功和、狩野眞澄
(6名)

○全都選出理事／小笠原明、西澤隆廣、松尾博子 (3名)

○監事／小玉、西村佳江子 (2名)

議長が第 4 号議案に関する質疑応答を議場に求めた。

代議員からの質問はなく、議長が採決に入る旨を議場に告げた。

(採決結果) 賛成票 16 票。全会一致で承認されたと議長から宣言があった。

*その後、第 2 号議案の監査報告書について西部多摩ブロックの伊藤保太郎代議員(杉並)と三次保代議員(中野)から質問があり、西村・小玉監事からの答弁があった。

【答弁】西村監事から、監査の第一番は一般社団法人東京都歯科技工士会の定款及び諸規則に違反していないか、国の法人法に違反していないかが監査対象になっており、いずれも今回の役員のようなものはあたらないと判断してこのような結論になりました。また、本人の急病、家族の急病、不幸にあたる緊急事態が発生しその部会、理事会に欠席をしているという報告をうけての監査報告となりましたと答弁があった。

【答弁】小玉監事から、監事の役目は財産管理、事業計画が計画通り行われているかを要件としてみています。今回、理事として会議に欠席することはいいことではないが、諸事情がありやむを得ずの欠席と報告をうけているのでご配慮願いたいと答弁があった。

ここで休憩に入り、臨時理事会を開催し、代表理事（会長）として石川功和氏が全会一致で選出された。

議事再開し、次期会長の就任挨拶があった。

8. 協議事項

狩野専務から新地域歯科技工士会会費決定実行の件に関する説明があり、「地域歯科技工士会会費統一アンケート」を参考に新地域会費を決定し 2024 年 4 月に実行していきたいと協議があった。

9. 報告事項

(1) 2023 年度事業計画

狩野専務理事から 2023 年度事業計画および各部の事業計画は議案書の書面通りとの報告があった。

(2) 2023 年度一般会計収支予算書

狩野専務から 2023 年度一般会計収支予算書は議案書の書面通りとの報告があった。

(3) 2023 年度表彰委員、各種部員一覧表の件

狩野専務理事から 2023 年度部員配分表の説明報告があった。

(4) 事業部各種部員兼任(部会の統合)の件

ブロック長、ブロック会員の負担を軽減するための対策として理事会運営規則第 18 条の(部)を変えることなく、各種部員名簿の統合できる部会を纏めたいと説明報告があった。

(5) 選挙管理委員会 2023 年 6 月 24 日(土)選挙事務所終了後解散の件

第 11 回定期総会終了後に選挙管理委員会を解散すると報告があった。

10. 当選証書授与

三輪委員長から理事、監事に当選証書の授与があった。

11. 前任の地域歯科技工士会会長 感謝状授与

石川会長から対象の地域会長への感謝状の報告があった。代表して板橋歯科技工士会鈴木哲也会長に授与された。

12. 閉会

浜田議長から第 11 回社員総会閉会の宣言が発せられ閉会となった。